



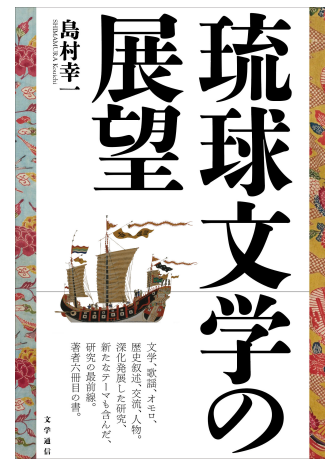
琉球文学をこれからどう考えていけばいいのか

島村幸一 立正大学文学部教授
SHIMAMURA Kouichi

琉球文学の
展望

- 第一部 総論
- 第一章 琉球文学
- 第二章 琉球の詩歌、琉歌とオモロ、琉歌と和歌
- 第三章 琉球往還、唐・マートの交際、交文
- ―近衛家熙と程順則・向受祐（玉城朝憲）の会見を中心に―
- 第二部 琉球歌謡研究
- 第一章 宮古島狩俣の神歌、フサの表現、異なる歌唱主体から
- 第二章 琉球文学の表現、唱えられる神話
- ―久米仲里間切旧記を資料にして―
- 第三章 琉球の御拝ツツ
- 第四章 首里の旅歌「旅グエリナ」と「だんじゅかりゆし」
- 第五章 首里の歌「旅グエリナ」と「だんじゅかりゆし」
- 第三部 オモロ研究
- 第一章 「地方オモロ論
- ―排列を「琉球国由来記」「各処祭祀」の記載から考える―
- 第二章 第十三船とのおもろ御双紙の排列
- 第三章 「色々のおもろ御双紙」第九、第十二、第十四の排列
- 第四章 「久米島オモロ論」に向けて
- ―世礼国男「首里とおもろ」双紙抹消論の検討―
- 第五章 琉球王府の雨乞い儀
- ―尚家文書「雨乞日記」「雨乞御代参日記」と雨乞いのオモロ―
- 第四部 琉球文学の歴史叙述
- 第一章 「古事集（鎌倉芳太郎資料）」の叙述
- ―「琉球国由来記」と「琉球国旧記」にふれながら―
- 第二章 「球陽」の叙述、「順治康熙壬申書文（古事集）」から
- 第三章 宮古島の土族「忠徳氏仲宗根家」の家譜叙述
- ―「八重山征伐」をめぐる悲劇譚と「征服譚」―
- 第四章 「倭文麻理」に記された二つの「琉球記事」
- 第五章 「周蘭両姓記事」家譜の外縁にある物語
- 第五部 琉球文学の交流・交叉
- 第一章 渡来宗教者の文学
- 第二章 琉球和文学の背景、「大島筆記」を資料にして
- 第六部 「沖縄学」の人物
- 第一章 「島袋源七」研究―ある「沖縄学」研究者の足跡―

今後の指針となる
重要な書。



978-4-86766-034-8 C0095

A5判・上製・620頁

定価：本体 8,000円（税別）

文学
歴史

コーナーで
お願いします！

文学、歌謡、オモロ、
歴史叙述、交流、人物。
深化発展した研究、
新たなテーマも含んだ、
研究の最前線。
著者六冊目の書。

【新刊申込締切】

2024年03月01日（金）

※注文扱（返条付・岡田了解）にて
搬入いたします。フリーで返品受けます。

【取次搬入予定】

2024年03月08日（金）

逆送されたら、八木書店（文学通信・岡田）了解
とお書き下さい。ご面倒をおかけいたします。

【ご注文について】

実際に手にとって見てみたいといった場合など、1冊でも構いません。遠慮なくご注文ください。
また、本書についての問い合わせも歓迎です。

営業部・岡田 [電話 03-5939-9027]

【注文書】 FAX 03-5939-9094

メールでも承ります●info@bungaku-report.com

問い合わせはお電話で●03-5939-9027

取引取次●八木書店。八木書店を経由して、トーハン・日販・大阪屋栗田・日教販・中央社等へ搬入いたします。

●番線印

●冊数

新刊 文学通信

琉球文学の
展望

島村幸一 立正大学文学部教授
SHIMAMURA Kouichi

冊

ISBN978-4-86766-034-8

定価：本体 8,000円（税別）

◎ご担当者 / 電話番号

◎その他ご相談事項があれば
お書きください。